

小中学生の医療費無料化は

24年度実施に向け予算化



池内 弘道 議員

後、町財政との調整により、本町の15歳年度末までの拡大を検討をしていく」という答弁だった。その後、今議会までにどのような検討をされたか問う。

答 大西町長

子育て支援の拡充をするため、24年度から実施に向け予算化の協議をしている。

問 実施する場合の予算見積もりはどの程度必要か。

答 矢野健康福祉課長

医療費の助成については、対象年齢を15歳まで拡大する。現在は小学校入学までの乳幼児を対象に、入院、通院費の自己負担を無料化とし、子育て支援の方策として拡充するもので、財政等の調整につい

問 9月議会でも同じ質問をした。
小中学生の医療費無料化についての執行部答弁は医療費無料化対象年齢の拡大について大変希望の持てるものであった。
現在、黒潮町で実施している無料化は就学前の乳幼児が対象となっているが、そのときの執行部の答弁では、「対象年齢を15歳年度末までに拡大している市町村が多くなっている。国の新しい制度化もない中、それを踏まえ、今

ての予算化の再終調整は当初予算の査定となり年明け早々になる。また、拡大した場合の予算額には、国保の被保険者の児童の平均負担額を基に概算費用額を算定し、町内の小中学生児童生徒の合計860人により試算すると、年間費用約1500万円から1600万円程度が必要と思われる。従って、現行の乳幼児の医療費助成額と合わせると年額で3100万円程度が必要と思われる。また、この費用については、感染症の疾患や、受診率によって変動が生じ、そのことも予算額に影響してくると思われる。

問 予算化された場合、実施時期はいつごろになるか。

答 矢野健康福祉課長

福祉医療費の助成に関する条例なので、H24年の3月議会にて条例改正を行い、それ

によって、中学生卒業までの児童を加える改正を行って実施していく。予算執行は4月以降になるが、対象者への周知、または申請等の事務手続きがあり、施行期日については若干遅れるかもしれない。



佐中祭で頑張る中学生たち